

教育研究データ			
1. 氏名	三田 幸司		
2. 生年月	1964年5月		
3. 取得学位	博士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2017年 4月～	①iPad やデジタル教科書, Glexa 等を活用した授業方法の工夫, 改善を行うとともに, Teams 等で資料を公開して授業外における学生の自律学修の促進を図っている。	
	2018年 4月～	②学生の理科室経営力の育成と, 授業外における模擬授業向けの予備実験および研究活動の促進のための取組みとして, 小学校の理科室を意識した教室整備を行っている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等	2012年 3月	①「ロウソクの火が消える原因に対する児童の概念変化に関する研究—混合気体による児童実験を採り入れた学習内容の効果の検証」, 広島大学附属三原学校園研究紀要, 第2集, pp.77-84.	
	2014年 3月	②「新たな科学観に基づいた授業づくりのポイントと授業の事例—合意形成を志向したコミュニケーション活動に焦点をあてて—」, 広島大学附属三原学校園研究紀要, 第4集, pp.89-94.	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①キーワードから探るこれからの理科教育	共著	1998年 8月	東洋館出版
②初等理科教育学	共著	2002年 6月	協同出版
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①小集団での話し合い活動における協同的な学びの要因に関する研究	共著	2009年 11月	『理科教育学研究』, Vol.50, No.2, pp.69-80.

一小学校第 6 学年「電流のはたらき」の単元を事例として一			
②児童の相互作用を促す理科学習の開発に関する研究―「フリータイム」の導入による効果を中心に―	単著	2009年 12月	『広島大学大学院教育学研究科紀要第一部(学習開発関連領域)』, 第58号, pp.115-123.
③子どもの科学的な学びを創造する理科授業に関する研究(3)―「電気の利用」の単元を事例として―	共著	2013年 3月	『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』, 第41号 pp.33-38.
④地震・津波避難に対する児童の意識の分析と学習内容の検討―質問紙調査への小学 6 年生の回答をもとに―	単著	2016年 3月	『広島大学附属三原学校園研究紀要』, 第6集, pp.111-116.
⑤小学校理科におけるアクティブ・ラーニングの本質の探求―学習課題づくりとグループ間交流の方法に着目して―	共著	2017年 3月	『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』, 第45号, pp.215-223.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①席を離れて交流する学習形態に関する事例的研究	2009年8月		日本理科教育学会第59回全国大会
②電気と磁気のエネルギーに対する小・中・大学生の見方や考え方に関する研究	2012年8月		日本理科教育学会第62回全国大会
(4) 所属学会			
①日本理科教育学会			
②日本教科教育学会			
③臨床教科教育学会			
④中国四国心理学会			
⑤初等教育カリキュラム学会			